

# 環 境 係

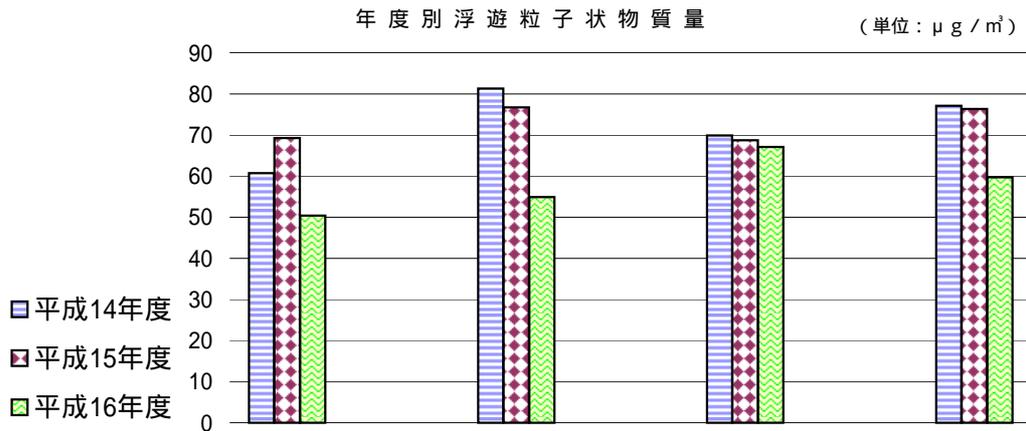
## 1 大気汚染調査

(1) 浮遊粒子状物質及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量

調査期間：平成17年3月1日から同月4日まで

調査地点：市内4箇所

### ア 浮遊粒子状物質量



区分	市役所	水道事務所	市民会館	第二小学校
平成14年度	60.7	81.3	69.9	77.1
平成15年度	69.3	76.7	68.7	76.3
平成16年度	50.4	54.9	67.1	59.7

### イ 浮遊粒子状物質中に含まれる重金属

調査項目	市役所		水道事務所		市民会館		第二小学校	
	平成16年度	前年度	平成16年度	前年度	平成16年度	前年度	平成16年度	前年度
鉛	0.012	0.027	0.013	0.029	0.011	0.027	0.010	0.028
マンガン	0.024	0.055	0.031	0.060	0.021	0.054	0.025	0.055
バナジウム	0.005	0.006	0.005	0.006	0.005	0.006	0.005	0.006
全クロム	0.003	0.007	0.009	0.010	0.005	0.010	0.008	0.008

数値は、1日平均の3日間平均の量である。

単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$  ( $\mu\text{g}$  (マイクログラム) は100万分の1g)

調査地点：市民会館は平成15年度から設定。平成14年度以前は第一中学校にて実施

(2) 燃料に含まれるイオウ分

調査日：平成17年3月24日

調査事業所数：11事業所（燃料使用量300 / 日以上）

事業所	燃料の種類(重油)	1日の最大使用量( /日)	イオウ含有量(Wt%)		基準値(W t%)
			平成16年度	前年度	
A	特A	1,000	0.06	0.07	0.8
B	"	300	0.04	0.06	
C	A	500	0.11	0.18	
D	"	300	0.12	0.19	
E	"	800	0.05	0.07	
F	"	1,500	0.12	0.23	
G	"	800	0.12	0.13	
H	特A	1,200	0.11	0.06	
I	A	600	0.06	0.08	
J	"	600	0.13	0.08	
K	特A	300	0.08	0.16	

W t % : 質量パーセント、検出下限値0.05

(3) 二酸化窒素

調査日：平成17年1月19日・20日

調査地点：市内12地点

No	調査地点(交差点)	測定値(ppm)		環境基準値
		平成16年度	前年度	
1	武蔵野橋北	0.041	0.026	0.06
2	武蔵野橋南	0.055	0.042	
3	熊川内出	0.033	0.021	
4	第五ゲート前	0.044	0.028	
5	福生志茂南	0.034	0.017	
6	多摩摩橋北	0.033	0.020	
7	福生駅西	0.032	0.017	
8	福生加加美	0.033	0.013	
9	福生加美平	0.032	0.018	
10	福生市役所前	0.036	0.025	
11	武蔵野台北	0.030	0.012	
12	第二ゲート前	0.050	0.019	

数値は、1時間値の1日平均値である。

(4) 光化学スモッグ注意報発令状況

地域 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年度合計
区 東部		1	2	5	3	1	12	4
区 北部		1	2	7	3		13	4
区 西部		1	2	8	3		14	5
区 南部		1	1	6	4	1	13	5
多摩北部		1	2	6	3		12	6
多摩中部		1	2	6	3		12	6
多摩西部		1	2	4	3		10	7
多摩南部			1	3	6	2	12	4
合計	0	8	16	48	24	2	98	41

多摩西部の測定地点は、福生市本町及び青梅市東青梅である。

## 2 水質調査

### (1) 河川及び下水道(雨水管)

PH(水素イオン濃度) : 環境基準 6.5~8.5 排出基準 5.8~8.6  
 BOD(生物化学的酸素要求量) : 環境基準 2 mg/ 排出基準 160 mg/  
 SS(浮遊物質量) : 環境基準 25.0 mg/ 排出基準 200.0 mg/

#### ア 多摩川

区分	5月	7月	9月	11月	1月	3月	
PH	平成16年度	8.7	9.0	8.7	8.2	8.2	8.4
	平成15年度	9.1	8.4	8.3	7.4	8.9	9.5
	平成14年度	8.6	7.7	8.7	8.3	8.2	8.3
BOD	平成16年度	1.0	1.0	0.3	1.2	1.8	1.9
	平成15年度	1.1	0.8	0.8	0.7	0.3	1.3
	平成14年度	1.1	2.1	1.3	1.7	1.4	1.5
SS	平成16年度	1.0	4.0	ND	ND	1.0	ND
	平成15年度	5.0	2.0	1.0	1.5	0.5	2.0
	平成14年度	3.5	8.5	ND	0.5	9.0	1.0

#### イ 下の川

区分	5月	7月	9月	11月	1月	3月	
PH	平成16年度	7.8	7.8	7.6	7.8	7.5	7.8
	平成15年度	7.7	7.6	7.6	7.1	8.0	8.4
	平成14年度	8.2	7.5	7.7	7.8	7.6	7.5
BOD	平成16年度	1.6	0.8	ND	2.8	1.5	1.9
	平成15年度	1.0	0.4	0.8	3.9	ND	1.6
	平成14年度	1.1	1.8	1.5	2.0	1.9	1.7
SS	平成16年度	ND	1.0	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	0.7	ND	0.7	14.7	1.0	1.7
	平成14年度	2.0	1.7	0.7	1.3	5.0	1.0

#### ウ 都市下水路

区分	5月	7月	9月	11月	1月	3月	
PH	平成16年度	7.7	8.0	7.9	7.8	7.7	8.1
	平成15年度	7.9	7.6	7.7	7.2	7.6	7.8
	平成14年度	7.8	7.6	7.9	7.9	7.9	7.6
BOD	平成16年度	1.3	0.9	0.7	1.8	1.8	2.1
	平成15年度	9.2	1.5	1.0	6.4	7.6	1.8
	平成14年度	0.9	1.5	1.7	2.1	1.9	3.2
SS	平成16年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	4.0	1.0	ND	140.0	2.0	1.0
	平成14年度	ND	3.0	1.0	ND	ND	2.0

#### エ 本町幹線

区分	5月	7月	9月	11月	1月	3月	
PH	平成16年度	8.0	8.4	9.2	9.2	8.8	9.2
	平成15年度	8.2	9.1	8.4	7.1	8.2	9.9
	平成14年度	8.2	7.5	8.5	9.1	8.7	8.7
BOD	平成16年度	2.4	1.0	1.3	1.8	1.9	5.8
	平成15年度	1.9	0.9	1.9	3.8	0.6	0.9
	平成14年度	1.4	1.6	1.2	0.6	1.5	9.9
SS	平成16年度	7.0	330.0	ND	ND	ND	1.0
	平成15年度	2.0	2.0	1.0	130.0	ND	490.0
	平成14年度	1.0	17.0	ND	2.0	11.0	5.0

都市下水路及び本町幹線は、排出口での採水  
 基準値を超えているものは、色付けをしている。  
 平成16年度は天候不順のため9月分を11月に、11月分を12月に測定  
 ND：定量下限値未滿

## (2) 航空機騒音調査

ア 測定場所 熊川1571番地先 誘導灯付近

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (dB)	月平均 WECPNL
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	954	692	228	34	103	86
5	865	646	195	24	102	87
6	943	693	218	32	103	88
7	863	644	189	30	104	87
8	985	680	285	20	102	88
9	600	449	132	19	100	83
10	847	672	153	22	101	83
11	875	691	157	27	98	81
12	820	733	79	8	101	84
17年1	479	395	75	9	100	83
2	729	549	168	12	101	85
3	969	754	202	13	99	85
合計	9,929	7,598	2,081	250		
前年度合計	12,754	10,493	1,987	274		
平均	827	633	173	21	101	85

dB：デシベル  
WECPNL：加重等価持続感覚騒音レベル

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (dB)	月平均 WECPNL
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	243	141	98	4	84	67
5	186	122	64	0	81	60
6	198	136	61	1	82	65
7	268	201	67	0	82	65
8	243	155	86	2	82	63
9	172	110	62	0	82	62
10	153	121	30	2	80	60
11	252	170	68	14	80	62
12	185	145	35	5	80	62
17年1	87	58	28	1	80	56
2	197	116	81	0	82	62
3	281	195	84	2	81	63
合計	2,465	1,670	764	31		
前年度合計	2,875	2,242	604	29		
平均	205	139	64	3	81	62

dB：デシベル  
WECPNL：加重等価持続感覚騒音レベル

(3) 地下水

測定日：平成16年8月24日

検査項目 \ 測定地点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	基準値
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 mg/㎡	7.2	7.6	5.3	2.4	8.0	3.7	3.3	6.8	2.8	4.9	10以下
塩素イオン mg/㎡	18	10	5.6	4.5	12	3.4	5.0	14	6.5	5.7	200以下
過マンガン酸カリウム消費量 mg/㎡	0.8	0.8	<0.1	0.8	0.8	0.6	0.9	4.6	1.3	0.6	10以下
一般細菌 mg/㎡	100<	20	14	9	1	17	100<	100<	59	3	100以下
大腸菌群数	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと。
鉄 mg/㎡	0.13	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.11	<0.05	<0.05	0.3以下
マンガン mg/㎡	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
P H	6.3	6.2	6.3	6.4	6.7	6.4	6.3	6.8	6.8	6.3	5.8～8.6
臭気	異常なし	異常でないこと。									
味	異常なし	異常でないこと。									
色度	4	1	<1	<1	1	1	3	5	1	<1	5度以下
濁度	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	3	<1	<1	2度以下
トリクロロエチレン mg/㎡	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03以下
テトラクロロエチレン mg/㎡	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
1,1,1-トリクロロエタン mg/㎡	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.3以下

基準値を超えているものは、色付けをしている。

地下水調査は、毎年度測定地点が異なる。

(4) 工場排水

測定日：平成16年8月24日

単位：mg / (PHと水温を除く。)

区分 \ 検査項目	A工場		B工場		基準値
	平成16年度	前年度	平成16年度	前年度	
PH (水素イオン濃度)	6.9	6.6	7.3	7.1	5.8～8.6
PH測定時水温	21	25	22	26	40 以下
BOD (生物学的酸素要求量)	7.3	7.8	9.2	7.8	160
COD (化学的酸素要求量)	15	19	15	13	200
SS	80	15	84	44	200
カドミウム及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
鉛及びその化合物	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.1
水銀、メチル水銀及びその化合物	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
銅含有量	0.01	<0.01	0.02	0.01	3
亜鉛含有量	0.08	0.03	0.08	0.07	5
溶解性鉄含有量	0.26	<0.05	<0.05	0.05	10

### 3 騒音調査

#### (1) 自動車交通量・交通騒音調査

##### ア 交通量

(単位：台)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車線数	4	4	2	2	2
測定日	平成16年11月9～10日	平成16年11月16～17日	平成16年12月20～21日	平成16年11月30～12月1日	平成16年11月11～12日
上り	26,256	12,306	10,596	4,734	12,948
下り	28,782	12,468	10,896	4,968	8,052
合計	55,038	24,774	21,492	9,702	21,000
前年度合計	55,458	25,776	22,572	11,586	23,418

都心方面を上り、逆を下りとする。

##### イ 騒音

(単位：デシベル＝dB)

道路通称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道		
測定場所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	鈴島建設前	
用途地域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業	
車線数	4	4	2	2	2	
測定日	平成16年11月9～10日	平成16年11月16～17日	平成16年12月20～21日	平成16年11月30～12月1日	平成16年11月11～12日	
騒音 (LEQ)	昼間	72	70	72	68	69
	前年度	77	74	69	69	71
	夜間	72	67	69	62	69
	前年度	78	74	68	66	68
環境基準値	昼間	70				
	夜間	65				
要請限度	昼間	75				
	夜間	70				

LEQ = 等価騒音レベル

(2) 航空機騒音調査

ア 測定場所 熊川1571番地先 誘導灯付近

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (dB)	月平均 WECPNL
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	954	692	228	34	103	86
5	865	646	195	24	102	87
6	943	693	218	32	103	88
7	863	644	189	30	104	87
8	985	680	285	20	102	88
9	600	449	132	19	100	83
10	847	672	153	22	101	83
11	875	691	157	27	98	81
12	820	733	79	8	101	84
17年1	479	395	75	9	100	83
2	729	549	168	12	101	85
3	969	754	202	13	99	85
合計	9,929	7,598	2,081	250		
前年度合計	12,754	10,493	1,987	274		
平均	827	633	173	21	101	85

dB：デシベル  
WECPNL：加重等価持続感覚騒音レベル

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

月	飛行回数	昼間	夕刻	夜間	月平均 最高音圧レベル (dB)	月平均 WECPNL
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	243	141	98	4	84	67
5	186	122	64	0	81	60
6	198	136	61	1	82	65
7	268	201	67	0	82	65
8	243	155	86	2	82	63
9	172	110	62	0	82	62
10	153	121	30	2	80	60
11	252	170	68	14	80	62
12	185	145	35	5	80	62
17年1	87	58	28	1	80	56
2	197	116	81	0	82	62
3	281	195	84	2	81	63
合計	2,465	1,670	764	31		
前年度合計	2,875	2,242	604	29		
平均	205	139	64	3	81	62

dB：デシベル  
WECPNL：加重等価持続感覚騒音レベル

## (3) 環境騒音調査 市内29地点(46箇所)

測定日：平成17年3月22日(火)から同月25日(金)【昼間】

No	測定地点 用途地域 道路との関係		騒音の大きさ(dB)			支配音
			等価騒音レベル(LEQ)		環境基準	
			平成16年度	前年度		
1	準工業	一般地域	55.0	47	60	一般音
2	準工業	一般地域	54.1	41	60	〃
3	第1種住居	沿道	75.1	69	70	自動車音
	第1種低層	後背地	51.5	55	55	〃
4	近隣商業	沿道	69.6	72	70	〃
	近隣商業	後背地	54.4	59	60	〃
5	第1種低層	一般地域	54.8	51	55	自然音
6	第1種住居	沿道	72.1	73	70	自動車音
	第1種低層	後背地	56.8	54	55	〃
7	近隣商業	沿道	76.1	77	70	〃
	第1種低層	後背地	55.7	55	55	〃
8	第2種低層	沿道	67.0	72	60	〃
	第1種低層	後背地	60.8	56	55	〃
9	第1種中高層	沿道	72.0	73	65	〃
	第1種低層	後背地	51.0	48	55	〃
10	第1種低層	後背地	53.7	46	55	一般音
	第1種中高層	沿道	63.1	51	60	自動車音
11	第2種住居	沿道	69.2	69	70	〃
	第1種低層	後背地	49.5	58	55	一般音
12	第1種中高層	一般地域	53.0	47	55	自動車音
13	第1種中高層	一般地域	58.3	54	60	〃
14	近隣商業	一般地域	51.4	47	65	一般音
15	第1種低層	一般地域	55.3	49	55	自動車音
16	近隣商業	沿道	73.1	74	70	〃
	第1種低層	後背地	55.8	55	55	一般音
17	第1種低層	一般地域	50.9	51	55	〃
18	近隣商業	沿道	71.6	73	70	自動車音
	近隣商業	後背地	57.7	53	60	〃
19	第1種低層	一般地域	55.9	51	55	〃
20	第2種中高層	沿道	65.6	65	70	〃
	第1種中高層	後背地	49.9	52	55	一般音
21	商業	一般地域	67.6	67	65	自動車音
22A	商業	一般地域	62.9	57	65	〃
22B	商業	沿道	66.4	65	70	〃
	第2種低層	後背地	56.3	51	55	〃
23	第1種中高層	沿道	69.4	71	60	〃
	第1種低層	後背地	54.9	57	55	〃
24	準工業	一般地域	58.1	49	65	一般音
25	近隣商業	沿道	66.9	70	65	自動車音
	第1種中高層	後背地	47.1	45	55	一般音
26	第1種低層	一般地域	50.1	48	60	〃
27	工業	沿道	69.1	68	70	自動車音
	工業	後背地	52.0	51	65	一般音
28	第1種低層	一般地域	47.2	46	60	〃
29	第1種住居	沿道	67.0	70	70	自動車音
	第1種住居	後背地	52.9	52	55	〃

後背地の環境基準は、一般地域のものが適用される。

No.9及びNo.10は平成16年度より調査地点を変更

#### 4 その他

##### (1) 苦情受付件数

(単位：件)

現象	月												合計	前年度合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	17年1	2	3		
大 気 汚 染	2	3	2	1	1	2	3	4	4	1	0	1	24	20
水 質 汚 濁													0	1
土 壌 汚 染													0	
騒 音・振 動	1	1	4	1	0	1	3	2	0	0	2	3	18	18
低 周 波 音													0	
航 空 機 騒 音	2	2	9	12	6	13	7	21	6	4	1	3	86	40
地 盤 沈 下													0	
悪 臭	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	0	8	3
雑 草	0	0	2	4	6	2	2	2	0	0	0	0	18	17
そ の 他	7	4	2	5	2	4	2	1	1	2	1	0	31	39
合 計	13	10	20	24	15	23	18	31	11	8	5	7	185	138

##### (2) 申請書等処理件数

(単位：件)

区 分	平成16年度	前年度	区 分	平成16年度	前年度
工 場 設 置 認 可	0	0	指 定 作 業 場 設 置 届	0	0
工 場 設 置 認 定	0	0	指 定 作 業 場 変 更 届	0	0
工 場 変 更 認 可	1	0	指 定 作 業 場 氏 名 変 更・承 継 届	1	0
工 場 変 更 認 定	0	0	指 定 作 業 場 廃 止 届	1	0
工 場 氏 名 変 更・承 継 届	0	1	特 定 施 設 設 置 届	2	3
工 場 廃 止 届	0	0	特 定 施 設 変 更 届	0	0
電 気 供 給 通 知 書	0	0	特 定 施 設 氏 名 変 更・承 継 届	2	0
電 気 供 給 証 明 書	0	0	特 定 施 設 廃 止 届	0	0
地 下 水 揚 水 量 報 告	15	15	特 定 建 設 作 業 実 施 届	15	18

##### (3) 立ち入り・測定件数等

(単位：件)

区 分	平成16年度	前年度	区 分	平成16年度	前年度
工 場 認 可 関 係	1	0	苦 情 処 理	312	262
指 定 作 業 場 届 出 関 係	0	0	各 種 測 定	151	155

## 5 環境行政・環境学習の推進

- ( 1 ) 福生環境市民会議等
  - ア ごみ減量プロジェクト
    - 第 1 回 意見交換、会の進め方
    - 第 2 回 今後のテーマ
    - 第 3 回 ごみ減量に対する経費削減効果とその対比、生ごみ処理機の適正利用
    - 第 4 回 雑がみの分別推進、及びPR方法
    - 第 5 回 雑がみの分別について、コンポスト生ごみ処理機について
    - 第 6 回 生ごみ処理機、普及推進の具体策について
    - 第 7 回 第 6 回までの総括
    - 第 8 回 これからの活動内容について
    - 第 9 回 雑がみの資源化について
    - 第 10 回 雑がみ分別強化の方策
  - イ 「人と動物の共生」福生市民会議
    - 第 1 回 東京都状況報告、意見交換
    - 第 2 回 会の進め方、テーマについて
    - 第 3 ~ 10 回 人と動物の共生提言書（ネコ編）の協議
    - 第 11 回 人と動物の共生提言書（最終版）の協議
  - ウ 福生市地域新エネルギービジョン市民会議
    - 第 1 回 意見交換、会の進め方
    - 第 2 回 新エネルギーシステム事例紹介
    - 第 3 ~ 4 回 新市庁舎及び福生病院建替え案協議
    - 第 5 回 新庁舎建設に係る中間答申について
    - 第 6 ~ 7 回 目標設定、導入方針検討
    - 第 8 回 新エネルギービジョン導入案の検討
    - 第 9 ~ 10 回 市民報告会について
  - エ 「かんきょう通信」の発行
    - 第 8 号 ~ 第 11 号
  - オ 福生環境市民会議ホームページの運営
- ( 2 ) 福生市環境審議会
  - 第 5 回 福生市環境基本計画実行計画について（平成 16 年 11 月 18 日）
- ( 3 ) 福生市地域新エネルギービジョン策定委員会
  - 第 1 回 新エネルギービジョン説明、市内エネルギー状況、意見交換（平成 16 年 8 月 19 日）
  - 第 2 回 地域新エネルギービジョン中間答申案の審議（平成 16 年 10 月 18 日）
  - 第 3 回 新エネルギー導入目標などの審議（平成 16 年 12 月 14 日）
  - 第 4 回 地域新エネルギービジョン最終答申案の審議（平成 17 年 1 月 17 日）
- ( 4 ) ふっさ環境フェスティバル（平成 16 年 5 月 30 日）
  - 参加者 1,000 人
  - ・中本賢のガサガサ探検隊 「川原の紙芝居ライブ」他

- ( 5 ) 市民環境大学 “ たんけん・はっけん・ほっとけん講座 ” 全 8 回、特別講座 2 回
- 第 1 回 環境フォーラム  
基調講演 「自然とのふれあい～レンジャーの体験から」  
中島慶二氏（環境省自然ふれあい推進室室長）  
パネルディスカッション 「福生をとりまく環境を知る」  
パネリスト：田中和明、蓑輪多津男、黒澤吉信
- 第 2 回 福生の緑
- 第 3 回 福生の水環境  
特別公開講座 多摩川が舞台の研究に触れる
- 第 4 回 どう活かす？リサイクル製品
- 第 5 回 東京のカラス・ドバト問題  
特別公開講座 ゴミの行方
- 第 6 回 熊川分水を歩く
- 第 7 回 福生の地形や地質
- 第 8 回 市民が作り出す福生市
- ( 6 ) 水辺の楽校 “ 多摩川で遊ぼう ” 全 8 回
- 第 1 回 多摩川かっぱまつり
- 第 2 回 南公園でバッタをゲット
- 第 3 回 福生最上流で魚とり
- 第 4 回 多摩川生き物探偵団
- 第 5 回 ネイチャークラフト
- 第 6 回 かに坂公園で遊ぼう
- 第 7 回 ネイチャーゲームで遊ぼう
- 第 8 回 福生の多摩川を歩こう
- ( 7 ) 福生環境フォーラム（平成17年3月27日） 参加者120人  
講演会  
「地球にやさしく、省エネ、暮らしのヒント」 草野満代氏（ニュースキャスター）  
パネルディスカッション  
「私たちが考える、福生の省エネルギー、新エネルギー討論会」  
パネリスト：山下真一、尾亦あき子、田辺恒久生活環境部長

## 6 緑化推進事業

### (1) 出生記念樹配布(キンモクセイ・ツツジ)

(第1回目)

実施日 平成16年4月29日(祝)

対象者 平成15年9月1日から平成16年2月29日生まれまで

該当者数 322人 配布数 137本 配布率 43%

(第2回目)

実施日 平成16年10月30日(土)

対象者 平成16年3月1日から平成16年8月31日生まれまで

該当者数 269人 配布数 86本 配布率 32%

### (2) 緑化ポスター募集

・小学生及び中学校1年生

・応募及び入選状況

区 分	応 募 数 (点)	入選・佳作数 (点)
小 学 校	456	41
中 学 校	17	5
合 計	473	46

### (3) 緑化標語募集

・一般市民を対象に実施

・応募及び入選状況

応 募 者 数	応 募 数	入選・佳作数
9人	19点	7点

一席 「青空に 緑輝き 光立つ 明日への活力<sup>ちから</sup> 生命<sup>いのち</sup>育む」

### (4) 花の種子配布

苗 の 種 類	配 布 数 (袋)
ポ ピ ー	500
撫 子	500
百 日 草	500
松 葉 牡 丹	500
西 洋 石 竹	500
カ ス ミ 草	500
金 せ ん 花	500
矢 車 草	500
寒 咲 花 菜	500
ハ ー プ	1,500
合 計	6,000

### (5) 草花の苗配布

苗 の 種 類	配 布 数 (株)
サ ル ビ ア	16,300
マ リ ー ゴ ル ド	18,700
パ ン ジ ー	29,400
葉 ポ タ ン	8,300
合 計	72,700

## 7 緑化保存事業

### (1) 保存樹林地

種 別	件 数 (件)	筆 数 (筆)	面 積 (㎡)
宅 地 介 在 山 林	7	11	6,509.30
一 般 山 林	5	10	3,386.00
合 計	12	21	9,895.30

### (2) 保存樹木

件 数	本 数
51件	241本

### (3) 保存生垣

件 数	個 所 数	延 長
179件	183箇所	4,203m

### (4) アメリカシロヒトリ防除事業

区 分	公共樹木 及び一般 樹木の別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合 計
		稼動日数 0日	稼動日数 10日	稼動日数 9日	稼動日数 8日	稼動日数 7日	稼動日数 10日	稼動日数 3日	
サ ク ラ	公 共	0	2	22	1	1	157	0	183
	一 般	0	0	1	0	5	1	0	7
ウ メ	公 共	0	0	0	0	3	2	0	5
	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0
カ キ	公 共	0	0	0	0	0	0	0	0
	一 般	0	0	0	4	10	0	0	14
ツ バ キ	公 共	0	37	32	0	0	0	0	69
	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0
ケ ヤ キ	公 共	0	0	1	5	3	0	0	9
	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0
サザンカ	公 共	0	78	160	0	2	5	0	245
	一 般	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	公 共	0	5	55	0	41	11	0	112
	一 般	0	0	1	0	2	0	0	3
合 計 (本)		0	122	272	10	67	176	0	647
植込・生垣等	箇 所	0	1	1	0	0	0	0	2
	面 積 (㎡)	0	40	148	5	0	0	0	193
薬剂量 (cc)		0	30	615	0	5	1,530	0	2,180